



日本プライマリ・ケア連合学会
中部ブロック支部



発行人：佐藤 寿一
事務局 〒466-8560 名古屋市昭和区鶴舞町 65
名古屋大学大学院医学系研究科健康社会医学専攻
総合診療医学 内
Tel. 052-744-2951 Fax. 052-744-2951
E-mail: juichi@med.nagoya-u.ac.jp

ニュースレター No.33(2021.3) 本号の編集担当者 山城 清二

【支部情報】

予定

1) 『中部ブロックポータル発表会 * 2021』

2021年3月6日(土) 13:00~16:20

ZOOMによるオンライン開催 参加費無料 先着 100名

2) 『総合診療専攻医オリエンテーション』

2021年5月8日(土)開催予定

3) 『第10回日本プライマリ・ケア連合学会中部ブロック学術集会』

2021年11月14日(日) 開催予定

東海家庭医療ネットワーク初WEBカンファレンス開催さる～第35回東海家庭医療ネットワークカンファレンス開催報告～

さる令和2年12月5日、通算35回目となるネットワークの学習会『東海家庭医療ネットワークカンファレンス』が開催された。新型コロナウイルス感染症の流行によりあらゆる集会はWEB上で開催されるようになったが、我々が最も大切にしている『家庭医療に興味のある者同士の交流』や、当会のカンファレンスの特徴である『お互いの距離感の近さ』がWEB上でも再現できるのか不安もありつつ、こだわりを持ってゼロから準備をして臨んだ。

テーマは『有事のリーダーシップ』とし、『Covid-19の濃厚接触者が発生！そのとき、院長のあなたは何をどう決断するのか？』と題して、自分がリーダーとして何を考え、どう行動するかについて参加者で熱く議論を交わした。講師は東海家庭医療ネットワーク副代表の成島仁人先生(津ファミリークリニック)、ゲストスピーカーに大杉泰弘先生(藤田医科大学総合診療プログラム)と経営学を学んだ家庭医たちが担当。議論はZoomのブレイクアウトルーム機能も使用して小グループに分けて行われた。

まずはアイスブレイクも兼ねて自己紹介と自身が所属する組織のビジョンの共有をし、各グループの「チームの指針」を作って親睦を深めた。リーダーシップに関する小レクチャーを挟み、「リーダーになる7つのステップ」が示された。次に自身が院長を務めるクリニックの職員に新型コロナウイルス感染症患者への濃厚接触者が発生したシナリオを提示、クリニックの方針と今後の計画について各チームで話し合った。課題は解くことよりもまず見極めることから始めることやリーダーの役割について学ぶことができた。さらに議論は具体的に、臨時休診としたクリニックで誰が何をを行うのか、刻々と変化する状況の中、患者をはじめとする部外者には何をどこまで伝えるのが話し合われ、チームの心理的安全性を担保することや事業継続が困難となるような死線を避けることの重要性を知ることができた。全体を通してリーダーシップは自ら考え、行動する経験を通して身につくもので、危機的状況だけでなく平時よりそれを意識して活動するものだということがよく理解できた。参加者からの反応も高評価で、4か月間良いものを作ろうと苦しんで準備したスタッフたちは胸をなでおろしたのであった。そして、WEBカンファレンスの良さや欠点についても感じることができた。総じて、参加者もスタッフも実りの多い機会となった。

東海家庭医療ネットワークでは、家庭医療に興味のある有志が集まり、大変興味深いテーマで意見交換や勉強会を行っている。今回のような経営に関するテーマのほかにも、家庭医療のコアに関する話題、開業専門医からの専門分野の臨床のレクチャーなど、実診療に役立つ話が目白押し。東海地方にゆかりのある方で、家庭医療に興味があればどなたでも参

加可能。年会費無料の当ネットワークに入会してみようという方は、ぜひ下記から。

<https://forms.gle/FgMQW8a75FeBor719>

(文責:東海家庭医療ネットワーク代表 田中久也)

●岐阜県

【報告】

1)総合診療スキルアッププログラム学習会 2020

日時:2020年6月以降不定期に開催

場所:Microsoft Teams でオンライン開催

講師:総合診療指導医

内容:症例に基づく臨床推論、画像診断、身体診察

参加者:各回4~15名の医学生

【予定】

1) 第45回岐阜プライマリ・ケアカンファレンス

日時:2021年3月5日(金)18:00~20:00

場所:Web 開催

講師:岐阜大学大学院医学系研究科 泌尿器科学 教授 古家琢也先生「明日から役立つ泌尿器科疾患の対応」

●三重県

【報告】

1)総合診療 虎の穴 巻之六 開催

日時:2020年12月8日(火)18:30~20:10

会場:Zoom によるオンラインセミナー

テーマ:救急から始める総合診療

演目・演者:

○「救急府外来での女性診療」 原田直樹 先生(津ファミリークリニック)

○「虎馬(トラウマ)の背後に潜む鹿(疾患)も仕留める」 橋本修嗣 先生(はしもと総合診療クリニック)

2)三重大学総合診療プログラム ポートフォリオ発表会 開催

日時:2021年2月14日(日)9:20~12:00

会場:Zoom によるオンライン開催

平時は対面で開催しております本会ですが、Zoomのブレイクアウトルームを用いてオンラインでの開催になりました。コロナ禍の中で模索しながらの開催でしたが、各専攻医が発表したポートフォリオをもとに、活発で有意義なディスカッションを行えました。

今後のポートフォリオ発表会の形式の1つとして、オンラインツールを用いる可能性を強く感じる会にもなりました。

3)第2回 Soshin-TALE 開催

日時:2021年2月14日(日)13:00~14:30

会場:Zoom によるオンライン開催

内容:セミナー

「三重のLIC~学修に役立つ長期間統合型臨床実習を実践・提供するために、私たちに何ができるのか?~」

【講師】近藤諭先生(東京大学大学院医学教育センター、三重大学非常勤講師)

高村昭輝先生(金沢医科大学 医学教育学 講師)

LIC は、長期間統合型であることの特徴・効用から、海外ではカリキュラムとして広く採用されつつあります。関連する教育理論を学び、日本初の LIC に取り組んできた三重の指導医の皆さんとともに今後の改善を議論。

* Longitudinal Integrated Clerkships; LIC

4)総合診療 虎の穴 巻之七 開催

日時:2021年2月27日(土)

会場:Zoomによるオンラインセミナー

テーマ:病院での総合診療的アプローチ

演者・演目

病院総合医がこれまでに出会った症例集

演者:中西 雄紀(伊勢赤十字病院)

認知症の方への総合診療的アプローチ ~なぜか食べない、を究める~

演者: 洪 英在(三重県立一志病院)

【今後の予定】

1)第13回プライマリ・ケアエキスパートナース研修会 開催予定

日時:2021年3月6日(土)14:00~15:30

会場:三重県立一志病院 2階会議室

演目「がんサバイバーの立場からプライマリ・ケアナースへのメッセージ」

演者:松下真紀 氏(三重中央医療センター 副看護部長)

2)総合診療 虎の穴 巻之八 開催予定

日時:未定(2021年4月予定)

テーマ:COVID-19 ワクチン(予定)

演者: 守屋章成先生(名古屋検疫所中部空港検疫所支所 空港検疫医療管理官)

●静岡県

【報告】

1)『高校生への思春期講話』

日時:2020年12月10日 14:10~15:00

参加人数:221名

開催方法:体育館(アリーナ)約140名 多目的室 約70名

森町家庭医療クリニックでは、近隣の高校で授業の一環として思春期講話を開催しました。思春期講話は2018年から毎年行なっています。例年、夏休み前の6月ごろに開催していましたが、今年はコロナ禍の影響で延期となり、さらに密を避ける対策として、1年生220名余を対象を限って、男女合同で2クラスと4クラスの集団に分けて行うこととなりました。

メインテーマとして「望まない妊娠と性感染症」を扱い、今年度はデートDVと緊急避妊ピルについても取り上げ、専攻医を中心に講話を行いました。事前、事後にGoogleフォームでアンケートから、講話を通じた知識の習得も確認され、新しいこと

を学べた、命を大事にしないといけない、自分や相手を大事にすることが大切、などという自由記載も数多く寄せられました。今後も校医として、思春期の子供達の健康に対する意識を高め、お互いを大切にすることなどを伝えていくことと共に、相談しやすい地域の医療機関として、その役割を果たしていきたいと考えております。



2)『高校マラソン大会の救護班』

日時:2021年2月5日

場所:静岡スタジアムエコパ

参加生徒:高校1-2年男女(男子236人、女子213人)

校医を担当している高校のマラソン大会の救護班を担当しました。1週間前から気管支喘息、1型糖尿病などの併存症がある生徒の健康診断を行い、参加時に吸入薬を持参することや、直前の血糖測定などの指導を行いました。また、この大会の前週に森町でコロナ陽性者が相次いでおり、健診前に、校長・副校長・体育科顧問の先生方に、感染対策について確認しました。当日は救護班として、専攻医を含む医師4名が参加しました。救護班では呼吸苦、手足のしびれ、転倒による足関節の痛み・擦過傷などで、10人に対し応急処置を行いました。コロナ禍で様々な行事が制約される中、無事マラソン大会を開催することができました。



●福井県

【報告】

1. 2020年度第3回福井県家庭医療ポートフォリオ発表会 前日企画 学生・研修医向け 高齢者診療における身体所見のエッセンス ご講演

2020年12月13日(日) 2020年度第3回福井県家庭医療ポートフォリオ発表会がZoomを用いオンラインで開催されるのを前に、12月12日(土)17時~18時半に、市立福知山市民病院 川島篤志先生を特別ゲストにお招きして、「学生・研修医向け 高齢者診療における身体所見のエッセンス」という題目で「臨床診断のプロフェッショナルによるオンラインフィジカルセミナー」を開催いたしました。宣伝の時点から非常に好評で、医学生、研修医の方のみならず、指導医層まで60名を超える方にお申し込みいただくほどの大盛況でした。福知山で活動してこられた、病院総合医の川島先生の、身体診察、高齢者診療などに対するふんだんな知識や思いが熱く伝わってくる、盛り沢山のレクチャーで参加者も大満足でした。これを書いて

いる専攻医の私自身もとても勉強になりました。川島先生お忙しい中ありがとうございました。(新野 保路)

2. 2020 年度 第 3 回 福井県家庭医療ポータルフォーリオ発表会

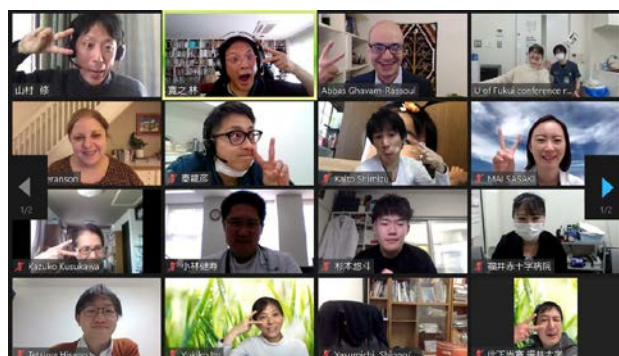
2020 年 12 月 13 日(日)、2020 年度第 2 回福井県家庭医療ポータルフォーリオ発表会が Zoom を用いオンラインで開催されました。市立福知山市民病院の川島篤志先生をお招きし、「地方都市 基幹病院からみた 病院総合医の役割」について御講演をいただきました。総合診療医、病院総合医としての社会的役割、今後の展望に加え、多種多様な組織がある中で病院総合診療医として、どんな工夫をしておられるかを学ぶことができ、充実した講演でした。その後の専攻医による発表でも、Zoom のチャット機能を併用したフィードバックが行われ、貴重なコメントをいただくことができました。福井県ポータルフォーリオ発表会では 2 回目のオンラインでしたが、参考資料や文献などもリアルタイムにシェアでき、また no blame な雰囲気の中、フィードバックができたこと好評でした。川島先生はじめ指導医の先生方、ありがとうございました。(武藤 理)



3. 2020 年度 GGG(Gifts from Great Generalists)web セミナー

2021 年 2 月 11 日(木)、2 月 19 日(金)の 2 日間に渡ってカナダのトロント大学の 3 名の先生方をお呼びして web セミナーを開催致しました。Dr.Abbas, Dr.Judith には「家庭医を育てるための取り組みや教育方法」について講演いただきました。医学生時代から研修医時代にかけて継続した家庭医教育のプログラムが、1 病院だけでなく地域も含め大きく展開されていました。驚くことに研修医期間中に他科をローテーション中でも週に 1 回はクリニックで診療を行うようにしていらっしやることで、1,2 か月といった短期間でなく、長期間継続して診療を行うという教育・研修体制ができていることは大変参考になりました。

Dr.Gary には「貧困者に対する家庭医の介入方法」について講演いただきました。貧困と健康は関連しており、貧困が病気の罹患率、死亡率を増加させることから、健康増進のために多方面から介入を実施されていました。本邦でも貧困層は年々増加傾向にあり、参加者間でも貧困層への向き合い方について、考え直す良い機会となったのではないかと考えます。今後、同様の web セミナーを開催していく予定です。(石本 貴美)



<今後の予定>

1)2021 年度 1-2 か月に 1 回 GGG セミナーを継続開催予定

福井大学医学部附属病院 総合診療・総合内科センター <https://ggg.med.u-fukui.ac.jp>

2)2021年6月12～13日 第1回 福井県家庭医療ポータル発表会

特別講師 関西家庭医療学センター 松井 善典先生

3)2021年12月18～19日 第2回 福井県家庭医療ポータル発表会

テーマ 多疾患併存(マルチモビディティ)

特別講師 天理よろず相談所病院 石丸 裕康先生

4)2021年3月10日 24日 永平寺町立在宅訪問診療所 フレイル・サルコペニア健診

5)2021年3月10日 永平寺町立在宅訪問診療所 永平寺町多職種連携研修会

見える事例検討会+『認知症ケアについて～薬(漢方薬など)のちから+多職種のちから～』講演

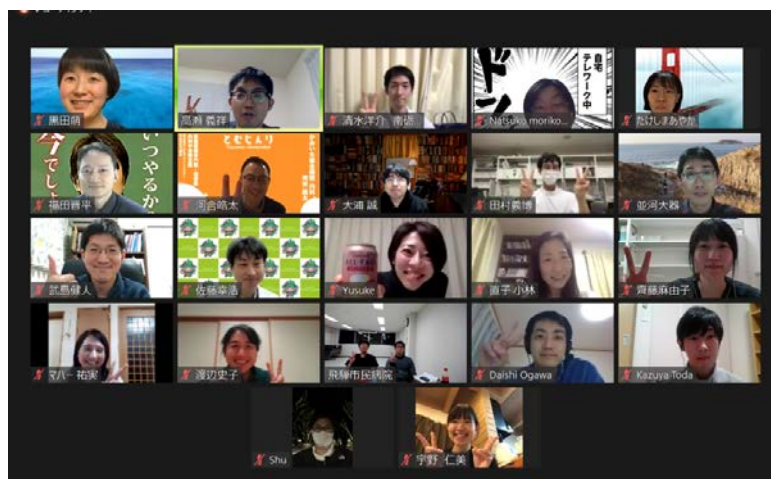
●富山県

【報告】

○とむじえり勉強会

専攻医が中心となって毎月オンラインで行っている勉強会を続けています。前半は3年目以降の専攻医から1-2年目の専攻医に向けてのコアレクチャーを行い、後半は2つのブレイクアウトルームに別れてポータル発表とより良いポータル発表にレベルアップさせるためのディスカッションを行っています。他のプログラムからゲストをお招きして貴重なコメントを頂いたり他のプログラムの様子をお聞きしたりもしています。見学などご興味がある先生はご連絡をお待ちしています。

問い合わせ先はこちら→miyono@med.u-toyama.ac.jp(事務担当:高木)



○とやま安心介護ネットワーク(以下 TAKN)での活動

昨年5月に立ち上がった、TAKNと呼ばれる介護職の方々の集まりに、とむじえり家庭医たちがコアメンバー・アドバイザーとして関わっています。毎月1-2回のZOOMミーティングやLINEによる情報提供、必要に応じて介護現場での感染予防対策の出前講座などを行っています。2月は風に立つライオン基金とともに「大雪お疲れ様」ミーティングを開催し、富山の大雪を皆でどのように乗り切ったかの情報共有を行いました。堀田聡子先生(慶応義塾大学大学院教授)からは「介護の現場では「やりたい」「大丈夫かな」と普段からいえる関係性づくりが大事だと思われる。TAKNはつぶやきに確実に返せていることで、力になっている。」というお言葉をいただきました。富山大学総合診療科の山城教授も、TAKNメンバーとともに飲食店などへの感染対策のチーム「まちなかコロナ対策チーム」を作成し、活動に取り組んでいます。

ご興味をもたれた方は、Facebookにて「とやま安心介護ネットワーク」と検索・ページにてお問い合わせください。

<支部運営についての情報>

● 各県の代表窓口は下記の方々です

三重県；宮崎景、富山県；山城清二、石川県；吉岡哲也、岐阜県；森田浩之、愛知県；佐藤寿一、福井県；林寛之、静岡県；井上真智子

● プログラム責任者の会中部ブロック代表；大杉泰弘（藤田保健衛生大学総合診療・家庭医療プログラム）

● 中部ブロックの活動に関するご意見等ありましたら下記までご連絡ください。

木村 悦子（中部ブロック支部事務局） e-kimura@med.nagoya-u.ac.jp